

質問回答

NO.	質問	回答
1	仕様書 2.業務の内容 (2) 地域循環共生圏に係る広報及びHP基盤の移行 クラウドサーバは本番用 1 台の構成を想定しておりますが、問題ございませんでしょうか。万が一、サーバに不具合や問題が発生した場合にすぐにサイト運用を切り替えられるよう、2 台で運用しておく必要があるかどうか、ご教示ください。	障害発生時は自動でスタンバイ環境へと切り替えてWebサイトの停止を最小限にとどめる冗長構成とすること。尚、これとは別に検証環境（開発環境）も用意する必要があることに注意すること。
2	業務仕様書「(2)地域循環共生圏に係る広報及び HP 基盤の移行」について ・【リニューアルの有無】現状サイトを、そのまま新環境へ移管する想定でよろしいでしょうか？	コンテンツとしては現行サイトをそのまま新環境へ移行することとする。但し、ウェブアクセシビリティへの対応は本作業に含まれる。
3	・【現状 Web サイトについて】現状 Web サイトは、静的な HTML で制作されたものでしょうか？もしくは、CMS 等のシステムで構築されたものでしょうか？また、コンテンツ管理の仕組みや DB の、プログラムの組み込みなど、移管において考慮すべき事があれば教えて頂ければと存じます。	PHPで記述されており、CMSの利用はない。また、DBも使用していない。 尚、本サイトは仕様書に記載のある通り、環境省 HP 統合基盤上で稼働しており、WebサーバーはHP 統合基盤が提供している。
4	・【サイト運用・更新について】サイトの更新については、移管完了後を開始とする想定でしょうか？（既存環境での更新は無し）既存環境でも更新を想定している場合、更新の開始時期はいつ頃になる予定でしょうか？	移管完了時期によっては、既存環境での更新も想定しうる。 更新開始時期としては、契約直後から更新可能な体制を構築していただきたい。
5	・【サイト運用・更新について】新環境運用開始（移管完了時期）の希望時期はございますでしょうか？	本事業の範囲内で移行を完了させるため、遅くとも令和 7 年 3 月には新環境での運用開始を希望する。
6	・【メルマガについて】差し支えなければ現状の配信方法、配信ツールを教えてください。メルマガ配信に使うツールの指定はございますでしょうか？または、配信方法のリプレースが必要でしょうか？また、メルマガ配信はいつから始める想定でしょうか？	OUTLOOKのメール機能より実施している。（特段システムは構築していない） 配信方法は既存方法の踏襲で差し支えない。配信業務は10月から実施していただきたい。
7	・【アクセス解析について】現状 Web サイトには Google タグマネージャーを実装しているようですが、この管理は移管後どのようになりますか？	現行運用保守業者よりアカウントを引き継ぎ、継続して解析を行う。
8	・【SNS について】Facebook 運用は対象範囲外という認識でよろしいでしょうか？	対象範囲外。
9	・【SaaS の定義】「SaaS を活用したウェブサイト」の定義について確認させてください。こちらは大きい意味での「クラウドサービス活用したウェブサイト」という意味で合っておりますでしょうか？ SaaS を前提とするサービスや機能の要件、または、想定する事業者はありますか。SaaS の厳密な意味で考えますと、サーバーから Web アプリケーションまでを事業者がパッケージ提供する為、カスタマイズ性が低く、個々の脆弱性対応などは不可となる可能性が高いと思われます。 また、現時点で ISMAP リストは、Web ホスティングサービスにおいては IaaS・PaaS 中心で、SaaS はほとんど無いように思われますが、いかがでしょうか？	ISMAPに準拠するクラウドサービスからの選定・導入が困難な場合は、以下の要件をすべて満たすクラウドサービスからの選定も可能とする。 (必須要件) ・本番環境とスタンバイ環境の冗長構成を可能とすること ・Webサーバー機能 ・SFTP機能 ・ファイアウォール機能 ・ウイルスチェック ・リソース監視 ・バックアップ ・Web改ざん検知 ・DDoS対策WAF

10	<p>・【サーバーについて】サーバーについて必要な条件を教えてください2 BCP 対策、負荷分散装置、WAF、FW 等。⑧の質問にも関連しますが、SaaS 系のサービスの場合、事業者任せざるを得ない為、もしサーバー構成などにカスタマイズが必要になった場合、IaaS 系のサーバーで自前で運用・保守が必要になります。</p>	<p>項番 9 を参照のこと。</p>
11	<p>・【脆弱性対応について】脆弱性について『運用時に対策漏れの有無を定期的に確認し』とありますが、第三者による脆弱性診断は実施される想定でしょうか？</p>	<p>脆弱性診断は新環境構築時のみ実施するものとする。</p>
12	<p>・【脆弱性対応について】上記に関連して、『運用時に対策漏れの有無を定期的に確認し』とありますが、これはサーバーも含まれますでしょうか。サーバーに関しては事業者任せざるを得ない部分も多く、もしサーバーも含まれるのであれば、自前で運用・保守するタイプが必要になります。</p>	<p>サーバーも含まれるが、マネージドサービスを採用するなどして、運用等経費の低減に努めること。</p>
13	<p>・【ドメインについて】現状のドメインは、環境省 (env.go.jp) のサブドメイン (chiikijunkan.env.go.jp) ですが、移管後も同じ「chiikijunkan.env.go.jp」を使用する想定でしょうか？またその場合、新環境リリース時の DNS 変更は、現状のドメイン管理担当者 (またはドメイン管理事業者) が行って頂ける想定でしょうか？</p>	<p>認識の通りである。</p>
14	<p>・【ウェブアクセシビリティについて】(現状サイトをそのまま移管する前提での質問です) 現状のウェブアクセシビリティ適合レベルを教えてくださいと存じます。また、環境省サイトでは『JIS X 8341-3:2010 の等級 AA を実現することを目標』と記載されておりますが、もし現状サイトが AA 準拠していない場合、その適合する為の検査&サイト修正も運用費に含まれますでしょうか？</p>	<p>適合チェック、及び修正費用も本調達費用に含まれる。尚、アクセシビリティ状況調査に当たっては例えば以下のようなチェックを実施すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Another HTML-lint 5」にてツールチェックを行ない、現在のポータル各ページの点数を調査すること。また、チェックの結果、上記ガイドライン等を踏まえ改修が必要となるページを洗い出すこと。 ・「miChecker (最新版)」にてツールチェックを行ない、現在のポータル各ページの評価を調査すること。また、チェックの結果、上記ガイドライン等を踏まえ改修が必要となるページを洗い出すこと。さらに、当該調査結果にかかる概要レポートを提出すること。概要レポートに記載する内容は、環境省担当官と協議の上決定すること。 ・「カラーコントラストアナライザー」および「音声読み上げリーダー」にてツールチェックを行ない、現在のポータル各ページの状況を調査すること。また、チェックの結果、上記ガイドライン等を踏まえ改修が必要となるページを洗い出すこと。 ・ツールチェックの結果を踏まえ、目視でも現在のポータル各ページが JIS X 8341-3:2016 の達成基準を満たすかどうか確認すること。 <p>全てのページを対象にチェックすることが難しい場合は、「みんなの公共サイト運用ガイドライン (2024年版)」(総務省)を参照し、対象ページの選定方法の工夫や、チェックツールによる機械的な検証を組み合わせる実施することにより、できる限りホームページ等の全体を対象として確認する状態に近づけることとし、合理的と考えられるチェック方法について、環境省担当官と協議の上決定すること。</p>
15	<p>・【ウェブアクセシビリティについて】運用において新コンテンツ作成時には、ウェブアクセシビリティ検査を実施したいと考えておりますが、費用に含める事は可能でしょうか。</p>	<p>新コンテンツ作成時のウェブアクセシビリティチェックは本調達費用に含まれる。</p>